

読み書き配慮

心理士による 読み書き検査

今すぐ知りたい！
所見は1週間以内にお知らせ

読み書きは学びの手段にすぎません。
その読み書きに困難を抱える子どもたちがいます。
読み書きが足かせとなって、学びたいのに学べない。

こんな様子はありませんか？

時間内にノートを書き終わらない・筆算の桁が揃わない・宿題をやりたがらない・宿題が夜中までかかる・漢字を正確に読めない・読むのに時間がかかるなど。
授業中ぼーっとしている・トラブルが多いなどのSOSが出ていることも。



読み書き 困難とは

読み書き困難は、知的発達に遅れないのに「読む」ことや「書く」ことに苦手さを抱える状態を指します。8%ほどの発生率があると言われていますが、保護者も先生方も困難の状態に気がついていない場合が少なくありません。

読み書き検査でわかること

読み書き困難は、全く読めない、全く書けないということではありません。すらすらと正確に読み書きができないことです。読み書き検査は「読み書き」に特化した検査です。読みの「速さ」と「正確さ」、書きの「速さ」と「正確さ」の4つを測定し数値化します。同年齢・同学年の平均と比べて数値に開きがあるかどうかで、困難を可視化しようとする検査です。

読み書き 検査とは



お申込みの流れ

対象年齢

小学校低学年から成人

料金

検査＋所見作成＋所見面談
25,000円(税込み)

お申込みはこちら

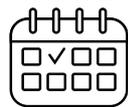


1.

お申込みフォーム入力

2.

日程調整



3.

インタビュー(聞き取り)
(所要時間約60分)

4.

読み書き検査
(所要時間約60分)



5.

検査結果郵送



6.

所見説明
(オンライン可)



所見は1週間以内にお届け

お問い合わせ

support@yomikaki.or.jp

※お子様の「読み書き」の苦しさは、「読み書き」だけによるものとは限りません。

お子様の困難に見える化するために、必要に応じてWISC等、心理検査もご提案させていただきます。